

なぜイスラエルは奴隷となったのでしょうか？

なぜイスラエルは 14 代もの間、ペリシテ人の圧迫を受けたのでしょうか？

なぜイスラエルはエジプトやアラムの侵略を受けたのでしょうか？

なぜイスラエルは再びバビロンに捕らえられたのでしょうか？

心に神の契約（福音）が刻印されていなかったため、それが剥がれ落ち、洗い流されて消えてしまったのです。心からイエス・キリストの福音が消えたとき、人には創世記 3 章以来の罪とサタンの奴隷状態、自己中心という呪いしか残っておらず、必然的に同じような失敗を繰り返すことになります。

私たちの心の最も深いところにイエス・キリストの福音が刻まれているならば、どのような状況、環境、条件の変化があっても、そのイエス・キリストの福音は決して消えることなく、離れることもありません。イエス・キリストは罪やサタン、この世の全てに勝利し、神に会う道となられたので、どんな力も私の心をキリストから切り離すことはできません。

"私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。"（ローマ人への手紙 8 章 38～39 節）

## 心に福音が刻印される黙想の奥義

### 宗教的集中と福音黙想

人間の側の誤った集中は、宗教的な刻印だけを残し、霊的な問題をより巧妙に隠してしまいます。そうした「**自分から出た宗教的集中**」は、霊的問題の塵が厚く積もった心のまま、御言葉の接着剤を厚塗りし、その上に考えをくっつけ、生活を建てるようなものです。自分は最善を尽くして信じていると思っても、心が御言葉と関係なく勝手に動いてしまい、その上に築かれたすべてが揺らぎ、崩れてしまうのです。心が神によって守られないなら、人生そのものがサタンの餌食になってしまいます。

**「何を守るよりも、自分の心を守れ。いのちの泉はこれから湧く。」（箴言 4:23）**

ハンナが神の御心になつた祈りを捧げたとき、神はその祈りに答えられました。

サムエルの語った言葉が「一つも地に落ちなかった」とは、サムエルが神の語らせるまを語ったゆえに、神がその御言葉を成就されたという意味です。

ダビデが戦いに強く、民を愛したからではなく、神の御心にかなう者であったゆえに、ペリシテ人の征服が許されたのです。

ヨセフが、仕事ができただけから成功したのではなく、その心に神が共におられたゆえに、すべてが繁栄へと導かれたのです。

## 神の働きの順序：まず私の心が御言葉と一致すること

神はまず、信じる者の心と考えを、神の御心と一致させてくださいます。神は御言葉と聖霊によって私たちに臨まれるため、私たちが御言葉を黙想し祈るとき、私と神、この世と神の国が一つに結ばれていくのです。

私たちには御言葉を成就させようとする努力ではなく、神が喜んで私の心に臨まれて働かれる「信仰の恵み」が必要です。神が私の心を守り導かれるならば、私のすべての生活は神が喜ばれる栄光の人生となるからです。

**「それゆえ、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの御言葉によって起こるのです。」  
(ローマ 10:17)**

私の心がキリストの御言葉を聞くとき、私が神に選ばれた者であるならば、神は信仰をお与えになります。つまり、心にイエス・キリストの契約が刻まれるのです。だから、刻印作業は主に委ね、私はキリストの御言葉を聞くことに集中しなければなりません。

## 御言葉を聞くとは？

ただ説教の場に座っているからといって、また 24 時間イヤホンでメッセージを流しているからといって、御言葉を「聞いている」とは限りません。心が一つの御言葉に対して「本当にそうなのか？」と問いかけ、黙想するとき、神はその御言葉を聞こえるようにしてくださいます。これこそが黙想の奥義です。

**「ベレヤの人たちは、テサロニケの人たちよりも素直で、非常に熱心に御言葉を受け入れ、  
果たしてそのとおりかどうかを、日々聖書で調べた。」(使徒 17:11)**

神の御言葉(福音)を黙想する時、あらゆる罪を清めるイエス・キリストの御血が心に塗られ、御霊の油が心に注がれます。

そして、この黙想を通して、心から「王である祭司」としての恵みにあずかり、すべてのことにおいて祝福される真のインマヌエルの生活が始まります。

**「幸いなことよ。  
悪しき者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かず、  
主の律法を喜びとし、昼も夜もその律法を黙想する人。  
その人は流れのほとりに植えられた木のような。」**

**時が来れば実を結び、その葉は枯れず、することがすべて栄える。」**  
**(詩篇 1:1-3)**

私たちの心を、神に逆らい高ぶるこの世のすべてから守る道は、罪とサタン、呪いを打ち碎かれたイエス・キリストの福音の御言葉を深く黙想することです。

イエス・キリストの福音を黙想することこそが、私の過越祭を守ることであり、私の五旬節を待つことです。

キリストの契約について深く黙想する時、私の心にキリストが刻印され、聖霊に満たされるようになります。そして、その心から流れ出るすべての生活は、仮庵の祭りの倉を満たす聖霊の実となるのです。